

# 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修及び技術職員代表者会議について

産学連携本部技術サービス部  
主任技術専門職員 木戸孝一  
平成 26 年 8 月 12 日作成

本報告書は、毎年開催されている東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修及び技術職員代表者会議について報告すると共に、平成 25 年の本学開催の合同研修、代表者会議の開催時に作成した書類を参考に、研修会と代表者会議開催までの要領をまとめたものです。

次回、本学が開催機関となるころは、開催方法その他、いろいろと変更されているかとは思いますが、次回への参考資料となれば幸いです。

## 技術職員合同研修と代表者会議について:

東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修は、平成 5 年にスタートし、現在は、「①機械」、「②電気・電子」、「③情報処理」、「④生物・生命」、「⑤物理・化学」、そして「⑥複合領域」の 6 つのコースが設定されている。合同研修は 3 日間が標準となっている。内容は、講義、実習、見学、発表等であるが、構成は各機関一任となっている。スタート時は各機関の人事担当が主体となって運営されていたようだが、最近は開催機関の技術職員が中心となって企画、開催されています。6 コースの設定の内、2 コースが毎年開催されています。

本学は、「③情報処理」コース開催校として登録されており、平成 16 年と昨年度(平成 25 年)に合同研修を開催しています。

技術職員代表者会議では、合同研修を開催する上で、その年の合同研修開催機関が年 1 回の代表者会議を開催し、「①当該年度の合同研修実施要領に関する事項」、「②研修計画に関する事項」、「③技術支援に関する諸問題」、そして「④その他合同研修に実施に関し必要な事項」、を協議しています。

技術職員代表者会議については、平成 23 年 2 月 28 日に「東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修に係わる技術職員代表者会議要領」が策定され、平成 25 年 8 月 1 日改定されている。これが、技術職員代表者会議の規約となります。

本学は、平成 25 年度の情報処理コース合同研修開催機関であり、もう一方の開催機関である自然科学研究機構と協議し、技術職員代表者会議を金沢で開催することを決定し、議長役を務めた。自然科学研究機構には副議長をお願いした。議事録は本学でまとめ、後日各機関へ打診し、最終版を提出した。

## これまでの合同研修、代表者会議履歴と計画:

平成 25 年度は、本学が合同研修「情報処理」コース当番機関であり、合同研修会を企画・開催した。また、当番機関として代表者会議を開催した。

合同研修を先に行うか、代表者会議を先かについては、当番機関に一任されるが、一般的に研修を先に行い、研修の報告を兼ねて代表者会議を開催するのが一般的であるようだ。

合同研修開催時期については、高等専門学校機関から夏休み中の開催希望がでていたので、考慮されたい。

これまでの、技術職員合同研修と代表者会議履歴と今後の計画は平成 29 年度までが下表の通り決定しており、平成 30 年度意向については、今年度の代表者会議(三重大学で開催)で協議されることとなっている。

## 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修及び技術職員代表者会議開催履歴と計画

開催年度	開催機関	開催コース	内容/日程	代表者会議日程
H25 年度	北陸先端科学技術大学院大学	情報処理コース	可視化*1, H25/10/30-11/1	しいのき迎賓館*1, 8/30*2
	自然科学研究機構 基礎生物学研究所	生物・生命コース		

H26 年度	名古屋工業大学	複合領域コース	8月27日～29日開催予定	
	三重大学	物理・化学コース	7月30日～8月1日で開催	開催は三重大学
H27 年度	金沢大学	電気・電子コース		
	福井大学	機械コース		
H28 年度	静岡大学	情報処理コース		
	富山大学	生物・生命コース		
H29 年度	分子化学研究所	物理・化学コース		
	名古屋大学	複合領域コース		

\*1 可視化ソフトウェア AVS を使って、データ可視化の実習と、CAVE で立体視の実習を行った。

\*2 本学の対応として、技術専門職員の内、情報系、マテ系それぞれ1名、計2名を代表者と参加させる。また開催が本学となった場合残りの技術専門職員を陪席で出席させることが望ましい。

註) 上記の研修・代表者会議の履歴・計画は平成25年度以降のものであるが、おおよそ、本学が開催する「情報処理」コースは、8年で周期ではあるが、各機関の都合もあるので、順序が入れ替わり早めの開催になることもあり得るので注意してください。

### 合同研修の企画から開催まで:

1. 合同研修の企画は、技術サービス部がメインで、人事労務課労務係がアシストという役割分担となります。
2. 具体的には、技術サービス部にて研修の企画、内容、講師のアサイン、実施日程などを決定し、全体計画を労務係へ持ち込み、打ち合わせることとなります。
3. 労務係は研修に係わる業務として、国大協への予算申請、参加機関への連絡、研修開催時へ向けての補助業務を行うこととなります。  
添付: 予算申請書、日程表、合同研修実施要領(案)
4. 合同研修実施の通知を労務から発信する。  
添付: 開催通知、実施要領、日程表、合同研修連絡事項、合同研修の狙い(必要あれば)、受講者推薦書等
5. 合同研修開催中は基本的に技術サービス部がその進行を行うこととなります。
6. 合同研修開催後は、労務係と協力し、研修参加者からアンケートを入手、翌年の代表者会議にて発表すること。

平成25年度本学開催の「情報処理」コース決定の背景について。

前年の平成24年度後半頃から次年度研修開催をどうするか、迷っていた。そこへ、サイバネット社宮地氏、海洋研究開発機構横浜研究所の荒木氏、原子力開発機構の鈴木氏らが、可視化ソフトウェア AVS を使った「可視化入門書」を出版したこと、また本学のシミュレーション科学研究センターが既設の CAVE(多面立体視表示システム)を更新することになり、導入を担当することとなった。これで、講師/利用機材がそろうこととなり、AVS を利用して可視化、CAVE を使った可視化立体視を企画、講師に宮地氏、荒木氏、本学の松澤教授にお願いし、可視化コースを立案した。

研修会後のアンケートでも、可視化の有用性が評価され評判は良かった。また一部の研修参加者から所属機関の技術報告書を通じて、可視化コースに賛辞をいただいた。

次回本学での開催がいつになるかは不明ですが、「情報処理」コースという言葉に縛られる必要はありません、とにかくやってみて、「面白かった!」、「さすが北陸先端科学技術大学院大学!」と評価をいただける、合同研修を企画してください。

また、外部に知人をたくさん作っておいてください、いろいろ役に立っていただけることがあります。

### 技術職員代表者会議の開催:

代表者会議は、各年の2つの合同研修開催機関で打ち合わせ、どちらかが開催し、議長を務める。開催しない機関に副議長役等をお願いすることも可能である。

合同研修とは違い、代表者会議の開催通知、開催進行は技術サービス部で行うものとします。

1. 開催通知を発送する

- 添付:開催通知
- 2. 開催レジメの作成
  - 添付:会議次第, 資料添付
- 3. 議事録の作成
  - 添付:議事録

以下は、抜粋ですが、合同研修、代表者会議用に作成した書類です。他にいろいろありますので、必要あれば木戸まで問合せてください。

関連資料は以下の通りです。

平成 25 年度東海・北陸地区国立大学法人等合同研修関連書類

資料ページ	資料名	備考
1～3	合同研修, 国大協への予算申請書(労務係で作成, 申請)	
4～10	合同研修, 開催通知(研修企画は技術サービス部が作成, 各機関への案内, 参加者決定は労務係で行う)	

合同研修, 国大協への予算申請書(労務係で作成, 申請)

合同研修, 開催通知(研修企画は技術サービス部が作成, 各機関への案内, 参加者決定は労務係で行う)

平成 25 年度技術職員代表者会議関連書類

資料ページ	資料名	備考
11	代表者会議開催通知(通知は技術サービス部で行う)	
12～14	代表者会議次第(資料作成は技術サービス部で作成)	
15～16	代表者会議議事録(代表者会議議事録は技術サービス部で作成)	

支 部 研 修 計 画 (平成25年度)

支部名:

研修名	目的/内容・テーマ等	開催日/日程(予定)	主催/会場	対象者/ 参加予定数	所要額(円)	備 考
【例】 平成25年度〇〇地区 立大学五人保険研修会	(目的) (須知要項)に掲げている目的を記載) 〇〇地区立大学法人の立大学組合若西保険 の担当者対象に、損害保険の基本的な知識の取得 を図る。 (内容等)	(日程) 平成25年7月10日(火)  (日程) 日程表のとおり	(主催) 〇〇大学 一般社団法人立大学 協会△△地区支部 (会場) 学習組合センター 一階記念講堂	(対象者) 立大学法人等の保 険担当者  (参加予定数)	会場料 講師謝金 講師謝金 資料等作成費  計	100,000 50,000 50,000 50,000  250,000
平成25年度東海・北陸 地区立大学法人等技術 協会合同研修(同級処理 コース)	(目的) 東海・北陸地区立大学法人等の技術協会に対し、 その協賛に必要な専門知識及び技術習得を促進させる ことにより、資質の向上を図るとともに、技術職員 相互の交流に寄与する。 (内容・テーマ等) 可視化を学ぶ (1)可視化の「楽しさ」を知る (2)可視化ソフトウェア「AVS」の実習 (3)多面立体系表示システムによる可視化と可視化デモ	(日程) 平成25年10月30日(水)～ 平成25年11月1日(金)  (日程) 日程表のとおり	(主催) 一般社団法人立大学 協会 開催機関：北陸先端科 学技術大学院大学  (会場) 立大学法人北陸先端 科学技術大学院大学 情報科学研究科五棟5 階 コラボレーション ルーム7	(対象者) 東海・北陸地区立大 学法人等に10名 以上初級し、年齢が 55歳以下の技術 職員で、各機関の長 が推薦する者  (参加予定数) 20名程度	ソフトウェア実習委託費一式 講師謝金 1名 × 4時間 × 5,400 = 講師謝金(会場) 1名 (1泊2日) × 43,720 =  計	367,500 (1)2日目 21,600 講師交通費(宿泊費) 43,720 は、ソフトウェ ア実習委託費一式に 含む。 ②3日目 講師は、海洋開発 機構(JAMSTEC) 横浜研究所から、
	(目的)	(日時)	(主催)	(対象者)		
	(内容・テーマ等)	(日程)	(会場)	(参加予定数)	計	
	(目的)	(日時)	(主催)	(対象者)		
	(内容・テーマ等)	(日程)	(会場)	(参加予定数)	計	

合計 432,820

※1名研修の研修案内通知、実施要項、日程表を添付してください。  
※2記入欄の不充足した場合は窓口でください。

平成25年度 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修(情報処理コース)日程表(案)

会場：北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科Ⅲ棟5階コラボレーションルーム7

	10月30日(水)	10月31日(木)	11月1日(金)
9:00		9:30 講義 (1)可視化の楽しさ  講師：サイバネットシステム(株)	9:30 講義 (3)可視化1  講師：JAMSTEC
10:00		10:30 実習 (2)可視化ソフトウェア実習1  講師：サイバネットシステム(株)	10:30 講義 (3)可視化2  講師：JAMSTEC
11:00		12:00 昼食	11:30 講義 (3)多面立体視システムによる可視化のデモ1
12:00			12:30 昼食
13:00	13:00 受付 13:20 開講式  13:30 学内見学	13:00 実習 (2)可視化ソフトウェア実習2  講師：サイバネットシステム(株) ・ JAMSTEC	13:30 講義 (3)多面立体視システムによる可視化のデモ2
14:00	14:30 学内情報システムについて  講師：JAIST シミュレーション科学研究センター 松澤教授		
15:00	15:30 合同研修参加者プレゼン		
16:00			16:30 閉講式
17:00		17:30 休憩・移動	
18:00		18:00 交歓会	
19:00			

平成25年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員  
合同研修（情報処理コース）実施要項（案）

1 研修目的

東海・北陸地区国立大学法人等の技術職員に対し、その職務に必要な専門知識及び技術等を修得させることにより、資質の向上を図るとともに、技術職員相互の交流に寄与する。

2 主催

国立大学協会及び東海・北陸地区国立大学法人等の共催により実施する。

3 研修期間

平成25年10月30日（水）～平成25年11月1日（金）

4 研修会場

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学（石川県能美市旭台1-1）  
主会場 情報科学研究科Ⅲ棟5階コラボレーションルーム7

5 対象者

原則として、東海・北陸地区国立大学法人等に10年以上勤務し、年齢が55歳以下の技術職員で、各機関の長が推薦する者。

6 参加人数

20名程度

※推薦が多数の場合には、担当機関（北陸先端科学技術大学院大学）で調整させていただきますので、あらかじめご了承ください。

7 研修日程

別紙「日程表」のとおり

8 経費

(1) 研修に要する経費は、国立大学協会の負担する部分以外については、受講者数で按分したものを研修参加機関が負担するものとする。

(2) 受講者の旅費（滞在費・交通費）は、受講者の所属する機関の負担とする。

※ 懇親会費 3,000円を研修初日の受付時に徴収します。

9 その他

(1) 本研修所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

(2) 受講者は、研修期間中、自宅又は各自手配した宿泊施設から研修会場へ通勤するものとする。

(3) 平成25年度のこの研修に関しては、東海・北陸地区国立大学法人等の協力を得て、北陸先端科学技術大学院大学が担当し、実施する。

北院大人第 188 号  
平成25年 9月12日

東海・北陸地区国立大学法人等関係機関の長 殿

国立大学法人  
北陸先端科学技術大学院大学長  
片山 卓也  
(公印省略)

平成25年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員  
合同研修（情報処理コース）の実施について（通知）

このことについて、別添「実施要項」のとおり実施しますので、貴機関における  
受講候補者を別添推薦書により平成25年10月2日（水）までに推薦願います。  
なお、推薦がない場合にも、その旨御連絡願います。

担当 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 人事労務課労務係 吉住, 杉森 TEL : 0761-51-1051, 1052 / FAX : 0761-51-1088 E-mail : roumu@jaist.ac.jp
--

平成25年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員  
合同研修（情報処理コース）実施要項

1 目的

東海・北陸地区の国立大学法人等に所属する技術職員に対し、その職務遂行に必要な専門的知識及び技術等を修得させ、技術職員としての資質の向上を図るとともに職員相互の交流に寄与する事を目的とする。

2 主催

国立大学協会及び東海・北陸地区国立大学法人等の共催により実施する。

3 期間

平成25年10月30日（水）～平成25年11月1日（金）

4 会場

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学（石川県能美市旭台1-1）  
情報科学研究科 中間棟 5階 共同作業室7（講義）  
情報科学研究科 II棟 1階 実験室（デモ、実習）

5 受講者

(1) 資格

東海・北陸地区国立大学法人等に勤務する技術職員で、各機関の長が推薦する者とする。

(2) 参加数

約20名

※推薦が多数の場合には、担当機関（北陸先端科学技術大学院大学）で調整させていただきますので、あらかじめご了承ください。

6 日程

別紙「日程表」のとおり

7 経費

(1) 研修に要する経費は、国立大学協会の負担する部分以外については、受講者数で按分したものを研修参加機関が負担するものとする。

(2) 受講者の旅費は、受講者の所属する機関の負担とする。

※ 懇親会費を受付時に徴収します。

8 修了証書

この研修の所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

9 その他

平成25年度の研修に関する庶務は、技術職員を置く東海・北陸地区国立大学法人等の協力を得て、北陸先端科学技術大学院大学人事労務課において処理する。

連絡先 北陸先端科学技術大学院大学人事労務課労務係

TEL 0761-51-1051/FAX 0761-51-1088/Email roumu@jaist.ac.jp



平成25年度 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修(情報処理コース)日程表

会場: 北陸先端科学技術大学院大学(石川県能美市旭台1-1)

	10月30日(水)	10月31日(木)	11月1日(金)
	情報科学研究科中間棟5階 共同作業室7	情報科学研究科中間棟5階 共同作業室7	情報科学研究科中間棟5階 共同作業室7 情報科学研究科Ⅱ棟1階 実験室
9:00		9:00 講義 (2-1) AVSソフトウェア実習  講師: サイバネットシステム(株) 宮地英生	9:00 講義 (4)可視化とCAVE  講師: 北陸先端科学技術大学院大学 教授 松澤照男
10:00			10:00 実習 (1-1) CAVEによる可視化  講師: JAIST 海洋開発研究機構 サイバネットシステム(株)
11:00			
12:00		12:00 昼食	12:00 昼食
13:00	13:00 受付 13:20 開講式  13:30 学内見学	13:00 講義 (3)可視化のすばらしさ  講師: 海洋開発研究機構 主任研究員 荒木文明	13:00 実習 (1-2) CAVE実習  講師: サイバネットシステム(株) 宮地英生
14:00	14:30 学内情報システム紹介	14:00 講義 (2-2) AVSソフトウェア実習  講師: 海洋開発研究機構 主任研究員 荒木文明 サイバネットシステム(株) 宮地英生	
15:00	15:00 研修会参加者職場紹介 参加者プレゼン		
16:00	16:00 講義 (1)可視化の楽しさ(仮題)  講師: サイバネットシステム(株) 宮地英生		16:30 閉講式
17:00		17:30 休憩・移動	
18:00		18:00 情報交換会	
19:00			

平成25年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員  
合同研修（情報処理コース）について（連絡事項）

このことにつきまして、以下のとおり予定しておりますので、推薦者への周知方よろしくお願いいたします。

#### 1 研修会場

- (1) 講義：情報科学研究科棟中間棟5階 I-56 共同作業室7  
AVS/Express をインストールしたノート PC (Windows 7) を参加者分  
本学にて準備します。
- (1) 実習：情報科学研究科棟Ⅱ棟1階 I-13 実験室  
多面立体視表示システムを利用し、立体可視化のデモ、実習を行います。

#### 2 研修内容について

- (1) 第1日目（10月30日）の研修受講者のプレゼンテーションは、1名当たり  
約5分で従事している職務内容を含め自己紹介をお願いいたします。会場にパ  
ソコン (Windows 7/Mac OSX 10.8 を各1台) 用意しますので、事前にデー  
タをお送りいただくか、USB メモリー等をご持参下さい(あらかじめウィルス  
スキャンをお願いいたします)。
- (2) 第2日目（10月31日）  
研修参加者に AVS/Express を操作いただき、AVS/Express の基礎的操作方法  
を体験いただきます。  
研修後、情報交換会を開催いたします。
- (3) 可視化の講義に引き続き、実験室に移動して多面立体表示システムのデモ、操  
作を行っていただきます。

#### 3 情報交換会参加費等

情報交換会会費は 3,000 円を予定しています。(研修初日の受付時に集金します。)  
※受付は、共同作業室の前で行います。

#### 4 交通機関

##### 【JR】

名古屋－小松 特急「しらさぎ」所要時間（小松まで）：約2時間40分  
名古屋－小松－金沢 特急「しらさぎ」所要時間（金沢まで）：約3時間

##### <JR 北陸本線小松駅から>

小松駅（北陸本線）-本学間は、本学が運行しているシャトルバス(13名乗車)を利用  
することができます。事前の予約が必要ですので、推薦書に利用の有無を記入下さい。  
別途ご案内を差し上げます。

##### <JR 北陸本線金沢駅から>

金沢駅（北陸本線）から、西金沢駅（北陸本線）へ移動、新西金沢駅（北陸鉄道石川  
線）から鶴来（つるぎ）駅下車、鶴来駅前より本学が運行するシャトルバス（予約不  
要）をご利用いただけます。

詳細は、以下 URL を参照ください。

URL: [http://www.jaist.ac.jp/general\\_info/access/](http://www.jaist.ac.jp/general_info/access/)

## 5 宿泊

各自で手配して下さい。

<近隣の宿泊施設>

- ・石川ハイテク交流センター（能美市旭台 2-1）TEL0761-51-0106  
<http://www.ishikawa-sp.com/isp/stayhightech.html>  
※部屋数に限りがあります。利用を希望される場合は、直接予約のうえ、減免申請のため研修担当者へご連絡下さい。
- ・たがわ龍泉閣（能美市辰口町 20）TEL0761-51-2111  
<http://www.ryusenkaku.com/index.html>  
※JAIST に訪問する旨を告げ、「ビジネスパック（シングル利用）」と指定
- ・金沢国際ホテル（金沢市大額町ル 8 番地）宿泊予約 TEL076-296-0123  
<http://www.kanazawakokusaihotel.co.jp/>
- ・KKRホテル金沢（金沢市大手町 2 - 3 2）優待者専用直通 TEL076-264-3850  
<http://kkshotelkanazawa.gr.jp/>

## 6 その他

自動車での本件研修会参加は原則ご遠慮願います。

勤務する機関より自動車で本研修会に参加する場合は、機関からの事前の許可を得ていること、また本学担当者に事前に連絡をいただくことを条件とします。

以上

東海・北陸地区国立大学法人等  
技術職員合同研修参加予定者の皆様へ

北陸先端科学技術大学院大学  
技術サービス部 木戸孝一

#### 平成 25 年度 情報処理コースとその狙いについて

今年度本学が担当する合同研修「情報処理コース」では「可視化」をテーマとして取り上げさせていただきました。

合同研修では、可視化ソフトウェア AVS/Express を使い、可視化の基礎を学びます。ただし、AVS/Express の利用をマスターするのは時間的にはとても無理です、本研修ではソフトウェアのマスターをゴールとしてはいません。ひとつの可視化ツールを利用し、ほんの少し可視化の仕組みや手法に興味をもつていただき、技術職員のみなさんの業務に役立てていただくことを狙いとしています。

本コースの参加資格は特に定めません。情報処理関連業務以外の方でも可視化にご興味があれば是非ともご参加ください。本コースでは Windows 7 コンピュータが操作できることが条件となります。AVS/Express をインストールした PC を本学で準備させていただき、操作を行いながら可視化の基礎を学びます。

今回、講師として計算力学レクチャーコース「可視化入門」の著者の方々に「可視化のたのしさ」、「可視化のすばらしさ」というタイトルで講義をお願いしております。

また本学教員より「CAVE と可視化」と題し、本学が今年度更新した「没入型多面立体表示システム“CAVE”」を使用するの、可視化のデモ、更に参加者の皆様の研修の成果をこの“CAVE”で可視化をしてみたいと考えています。

以上、

参考:

AVS/Express

<http://www.cybernet.co.jp/avs/products/avsexpress/>

計算力学レクチャーコース「可視化入門」

\*本コースへの参加者の方に「可視化入門」を差し上げます。

[http://pub.maruzen.co.jp/book\\_magazine/news\\_event/2013/kasika.html](http://pub.maruzen.co.jp/book_magazine/news_event/2013/kasika.html)

“CAVE”

<http://www.iaist.ac.jp/is/keyword/research/movie.html>

平成25年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修(情報処理コース)受講者推薦書

推薦の有無  有 (氏名等を下の表にお書きください。)  
 無

※提出時は、所属順で記載のうえ提出願います。

推薦 順位	所 属	職 名	ふりが な 氏 名	性別	年 齢 (年度末)	専 門 区 分 ・ 職 務 内 容	情 報 交 換 会 出 欠	送 迎 車 利 用 有 無	機 関 名	
									所 属	氏 名
							<input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	行き: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 帰り: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	本人連絡先 電話番号/Eメールアドレス	電話: Email:
							<input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	行き: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 帰り: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電話: Email:	電話: Email:
							<input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	行き: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 帰り: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電話: Email:	電話: Email:
							<input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	行き: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 帰り: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電話: Email:	電話: Email:
							<input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	行き: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 帰り: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電話: Email:	電話: Email:
							<input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	行き: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 帰り: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電話: Email:	電話: Email:

平成25年8月22日

東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修に係る  
技術職員代表者 各位

北陸先端科学技術大学院大学  
技術サービス部 木戸 孝一  
自然科学研究機構 基礎生物学研究所  
技術課長 古川 和彦  
自然科学研究機構 生理学研究所  
技術課長 大河原 浩

東海・北陸地区国立大学法人等  
技術職員合同研修に係る技術職員代表者会議の開催について

標記会議を下記の通り開催しますので、ご出席くださるようお願いします。

#### 記

1. 日 時 平成25年8月30日(金) 13:30～16:00
2. 場 所 石川県政記念 しいのき迎賓館 3階セミナールームB  
<http://www.shiinoki-geihinkan.jp/index.html>
3. 議 題
  - 1) 平成25年度合同研修報告及び計画について
    - ・「生物・生命コース」  
担当：自然科学研究機構 基礎生物学研究所(報告)  
自然科学研究機構 生理学研究所(報告)
    - ・「情報処理コース」  
担当：北陸先端科学技術大学院大学(計画)
  - 2) 合同研修の将来計画について
    - ・平成27年以降29年度までの合同研修実施当番機関の決定について
    - ・同研修の方法について(名古屋工業大学からの提案)
  - 3) 技術支援に関する諸課題について
  - 4) その他

以上

# 平成25年度 東海・北陸地区国立大学法人等 技術職員合同研修に係る技術職員代表者会議次第

日 時：平成25年8月30日（金）13：30～16：00

場 所：石川県政記念 しいのき迎賓館3階セミナールームB

## 議 題

- 1) 平成25年度合同研修報告及び計画について
  - ・「生物・生命コース」  
担当：自然科学研究機構 基礎生物学研究所(報告)  
自然科学研究機構 生理学研究所(報告)
  - ・「情報処理コース」  
担当：北陸先端科学技術大学院大学(計画)
- 2) 合同研修の将来計画について
  - ・平成27年以降29年度までの合同研修実施当番機関の決定について
  - ・同研修の方法について(名古屋工業大学からの提案)
- 3) 技術支援に関する諸課題について
- 4) その他

## 配付資料

- 資料1 出席者名簿
  - 資料2 「生物・生命コース」実施要項及び日程表
  - 資料3 「情報処理コース」実施要項(案)及び日程表(案)
  - 資料4 東海・北陸地区技術職員合同研修実施当番機関
  - 資料5 東海・北陸地区技術職員合同研修の改正について
    - 平成23年度技術職員代表者会議 議事メモ
    - 平成24年度技術職員代表者会議 議事メモ
    - 名古屋工業大学技術部専門技術研修の開催について
    - 設備サポート講習会プログラム
- 参考資料 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修に係る技術職員代表者会議要項

# 参考資料

(別紙)

## 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修に係る技術職員代表者会議要項

(東海・北陸地区国立大学法人等人事担当課長了承)

### (設置)

第1 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修(以下「合同研修」という。)を実施するに当たり、東海・北陸地区国立大学法人等の各機関において準備・対応を円滑に行うため、東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修に係る技術職員代表者会議(以下「代表者会議」という。)を置く。

### (定義)

第2 この要項において「東海・北陸地区国立大学法人等」とは、別表に掲げる機関をいう。

### (開催機関)

第3 代表者会議の開催機関は、当該年度において合同研修を実施する機関のうちから当該年度の前年度末までに互選する。

### (意見交換、検討事項等)

第4 代表者会議は、次に掲げる事項について意見交換及び検討を行う。

- 一 当該年度の合同研修実施要項に関する事項
  - 二 研修計画に関する事項
  - 三 技術支援に関する諸課題
  - 四 その他合同研修の実施に関し必要な事項
- 2 前項の意見交換及び検討は、年度をまたがって継続的かつ計画的に行うものとし、その内容は、必要に応じて、東海・北陸地区の国立大学法人等人事担当課長会議等において、当該年度の代表者会議の開催機関から報告し、関係機関への周知を図るものとする。

### (組織)

第5 代表者会議は、東海・北陸地区国立大学法人等の各機関を代表する技術職員をもって組織する。

### (議長)

第6 代表者会議に、議長を置き、代表者会議の開催機関を代表する技術職員をもって充てる。  
2 議長は、代表者会議を招集する。ただし、議長に事故があるときは、あらかじめ議長が指名した技術職員が議長となる。

### (開催)

第7 代表者会議は、年1回程度開催する。

### (庶務)

第8 代表者会議の庶務は、関係機関の協力を得て、代表者会議の開催機関において処理する。

### (雑則)

第9 この要項に定めるもののほか、代表者会議に関し必要な事項は、別に定める。

### 附 則

この要項は、平成25年8月1日から実施する。



別表（第2 関係）

東海・北陸地区国立大学法人等

国立大学法人	富山大学 金沢大学 北陸先端科学技術大学院大学 福井大学 岐阜大学 静岡大学 浜松医科大学 名古屋大学 愛知教育大学 名古屋工業大学 豊橋技術科学大学 三重大学
大学共同利用機関法人	
情報・システム研究機構	国立遺伝学研究所
自然科学研究機構	核融合科学研究所 基礎生物学研究所 生理学研究所 分子科学研究所
独立行政法人国立高等専門学校機構	富山高等専門学校 石川工業高等専門学校 福井工業高等専門学校 岐阜工業高等専門学校 沼津工業高等専門学校 豊田工業高等専門学校 鳥羽商船高等専門学校 鈴鹿工業高等専門学校

平成 25 年度 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修に係る技術職員代表者会議 議事メモ

日時 平成 25 年 8 月 30 日(金) 13:30-16:00  
場所 石川県政記念 しいのき迎賓館 3 階セミナールームB  
出席者 東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修に係る技術職員代表者会議出席者名簿参照  
陪席者 北陸先端科学技術大学院大学 人事労務課長 坂野利宏、労務係長 吉住こずえ

議題

1) 平成 25 年度合同研修の報告及び計画について

「生物・生命コース」について、自然科学研究機構基礎生物学研究所技術課 小林弘子氏より実施報告が行われた。(資料 2、資料 2-2)

「情報処理コース」について、北陸先端科学技術大学院大学技術サービス部 木戸孝一氏より計画説明が行われた。(資料 3)

2) 合同研修の将来計画について

- ・平成 27 年度以降 29 年度までの合同研修実施当番校の決定について
- ・同研修の方法について(名古屋工業大学からの提案)

議題として、「平成27年度以降29年度までの合同研修実施当番機関の決定について」(資料4)と「同研修の方法について(名古屋工業大学からの提案)」(資料5)の2件であるが、1件目の結果次第では名古屋工業大学の提案は意味をなさなくなるので両方を併せて検討して欲しい旨名古屋工業大学より申し入れがあり、両方を併せて討議した。その結果、資料4にある通り、平成27年度は機械コースを福井大学、電気・電子コースを金沢大学が行い、平成28年度は情報処理コースを静岡大学、生物・生命コースを富山大学が行い、平成29年度は物理・化学コースを分子科学研究所が行い、複合領域コースを名古屋大学が行うことで決定した。

また、名古屋工業大学から提案のあった、合同研修の拠点化と協力分散開催については、良いアイデアであるが、技術職員代表者会議にて決定できることでもなく、今後議論を継続し、人事担当者会議に諮った上で、実施を検討することとした。本件に関しては、技術職員合同研修の本来の目的とも十分にすりあわせるべきとの意見も多かった。

次いで、平成26年度の合同研修について、物理・化学コースについて三重大学小川氏、複合領域コースについて名古屋工業大学玉岡氏よりそれぞれ次の通り案内があった。また、次回合同研修に係る技術職員代表者会議の開催場所は三重大学と名古屋工業大学とで追って決めることとなった。

・三重大学 (物理・化学コース)

平成 26 年 7 月 30 日(水) から 8 月 1 日(金)の 3 日間で実施する。1 日目は講義とプレゼンテーション、2 日は実習、3 日目は講義と学内見学を行う。工学部以外のメンバーにも助けてもらい、5~7 コース程度準備することで検討中。

・名古屋工業大学 (複合領域コース) :

実施時期は平成 26 年 9 月頭を予定、防災、減災をテーマとする。できるだけ早めに中身を決めてアナウンスできたらと考えている。

3) 技術支援に関する諸課題について

特に話題となる発言は無かった。

4) その他

特に、話題はなかったものの、代表者会議出席者に今年度あるいは近年中に定年を迎えるかたが多く、若い世代の方に頑張っていたきたいとのメッセージがあった。

以上、